

心と技術を伝えたい世界のYAMAMURAへ

株主のみなさまへ

平成26年4月1日～平成26年9月30日

## 第86期 第2四半期決算ご報告

 日本山村硝子株式会社

<http://www.yamamura.co.jp/>

株主のみなさまへ

### 第2四半期決算ご報告および中間配当金関係書類送付ご案内

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、当社およびグループ各社(以下、当社グループと称します。)の第86期第2四半期累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)の事業の概況をここにご報告申し上げます。

また、「第86期中間配当金のお支払い」に関する書類も同封させて頂きました。

ご査収くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

平成26年12月



代表取締役社長

山村幸治

#### 中間配当金のお支払いについて

中間配当金の払渡期間は平成26年12月3日(水)から平成27年1月5日(月)まででございます。同封の「中間配当金領収書」によりお支払いいたしますので、お近くのゆうちょ銀行全国本支店ならびに郵便局で、お忘れなくお受け取りくださいますようお願い申し上げます。

なお、口座振込ご指定の方には、「中間配当金計算書」および「配当金振込先のご確認書」を同封しておりますので、ご指定口座への入金をご確認ください。

売上高  
36,641百万円

●ガラスびん関連事業、ニューガラス関連事業で増収を達成するもプラスチック容器関連事業、物流関連事業の減収が大きく、連結売上高は前期比0.2%減となりました。

営業利益  
△249百万円

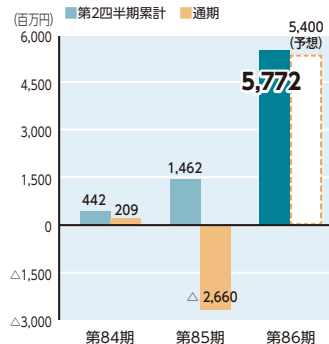
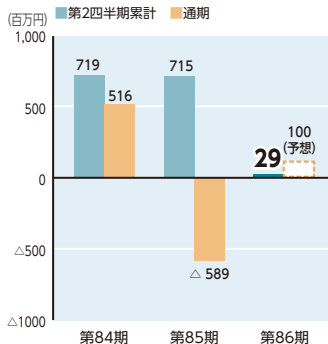
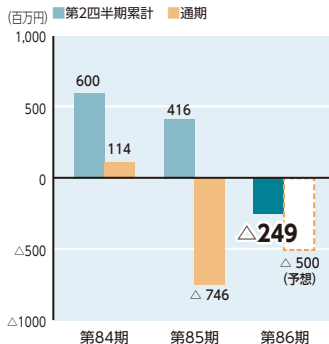
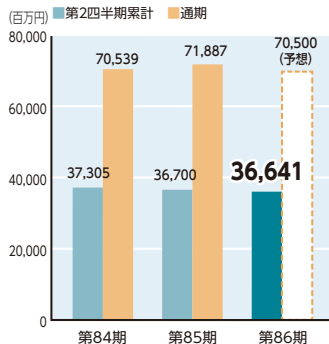
●物流関連事業、ニューガラス関連事業で増益となりましたが、ガラスびん関連事業の損失が大きな負担となり、営業損失を計上する結果となりました。

経常利益  
29百万円

●営業外費用の減少に加えて、その他の営業外収益が増加したことで、経常利益は黒字を維持することが出来ました。

当期純利益  
5,772百万円

●大阪工場の跡地を売却したこと等による固定資産売却益(8,184百万円)等を計上しました。

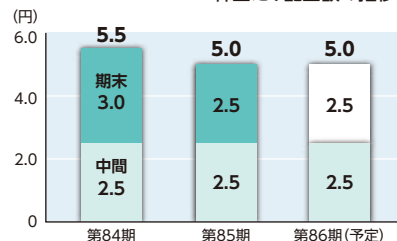


### 利益配分に関する基本方針および当期の配当

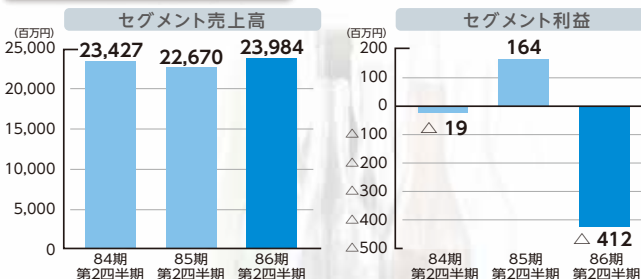
当社は、利益の配分につきましては、業績に応じた配当を継続的に行うことを基本に、海外への事業展開や成長事業への投資計画、財政状態等を総合的に勘案しながら、積極的に株主のみなさまへの利益還元を努めていきたいと考えております。

これらの方針と業績を総合的に勘案し、当期(平成27年3月期)の剰余金の配当につきましては、中間配当金を1株につき2.5円とし、期末配当金2.5円と合わせ、通期で5.0円とさせていただきます。

### 1株当たり配当額の推移



### ガラスびん関連事業



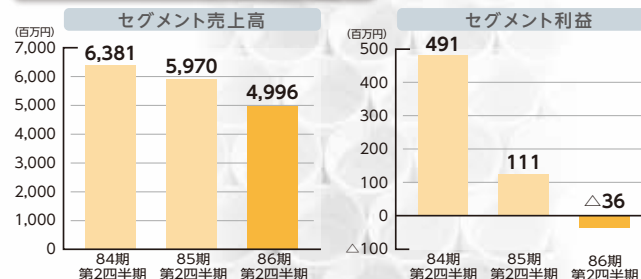
セグメント売上高  
23,984百万円

前期末に連結子会社化した中国の秦皇島方園包装玻璃の売上が寄与したことにより、増収となりました。

セグメント利益  
△412百万円

当社ガラスびんカンパニーの販売価格改定が計画より遅れたことや、秦皇島方園包装玻璃の原燃料価格の高騰もあり、損失となりました。

### プラスチック容器関連事業



セグメント売上高  
4,996百万円

ペットボトル事業からの撤退の影響や、天候不順による影響を受け、減収となりました。

セグメント利益  
△36百万円

原料価格の高騰や売上高減少に伴う減益の影響もあり、損失となりました。

## TOPICS

### エコキッズメッセ 2014に出展

尼崎21世紀の森づくりのイベントとして、10月4日に尼崎市で行われた「エコキッズメッセ2014」に出展し、ガラスびん3Rのポスターや、超軽量びん、エコロジーボトルなどのサンプルびんの展示、また、家庭から排出される資源ごみの分別方法をクイズ形式で行い、びんの正しい回収方法について学んでいただきました。

- 日 時…………… 2014年10月4日
- 場 所…………… 尼崎の森中央緑地・パークセンター
- イベント総来場者数 …… 1,000名以上
- 当社ブース体験者数 …… 約120名



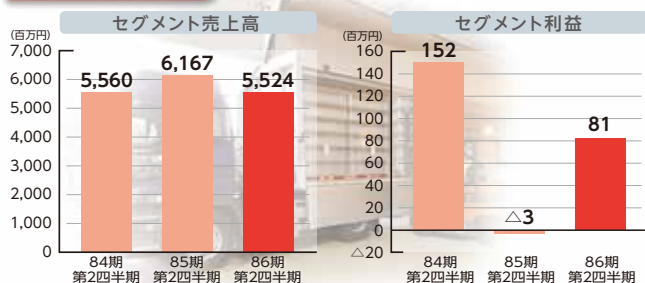
### TOKYO PACK 2014に出展

10月7日～10日に東京ビッグサイトで開催されたTOKYO PACK 2014の次世代高機能包装パビリオンに出展し、当社開発品のフィルム製立体容器「PGP」(特許出願中)を展示しました。

- 日 時…………… 2014年10月7日～10日
- 場 所…………… 東京ビッグサイト
- 総来場者数…………… 178,698名
- 当社ブース来場者数 …… 900名以上



### 物流関連事業



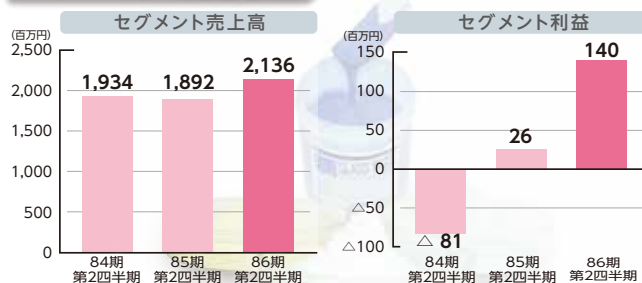
セグメント売上高  
5,524百万円

天候不順による取り扱い物量の減少や、収益性が悪い営業所の閉鎖等を行ったため、減収となりました。

セグメント利益  
81百万円

燃料費の高止まりによる輸送コストアップ等がありました。効率的な人員配置を行うことにより、外注費や人件費等を削減し、利益を計上しました。

### ニューガラス関連事業



セグメント売上高  
2,136百万円

当社ニューガラスカンパニーの電子部品用粉末ガラス、自動車部品用粉末ガラスおよび山村フォトニクス的主力製品である光通信部品を中心に出荷が堅調に推移し、増収となりました。

セグメント利益  
140百万円

生産効率の改善やコスト削減に注力したことにより、大幅な増益となりました。

## 会社の概要 (平成26年9月30日現在)

商号 日本山村硝子株式会社 (Nihon Yamamura Glass Co.,Ltd.)  
 本社所在地 関西本社 兵庫県尼崎市西向島町15-1 電話 06-4300-6000 (代表)  
 東京本社 東京都新宿区西新宿6-14-1 電話 03-3349-7200 (代表)  
 新宿グリーンタワービル20階  
 創業 大正3年4月5日  
 設立 昭和16年12月11日  
 資本金 140億7,496万5,448円  
 従業員数 898名  
 上場証券取引所 東京証券取引所 (市場第一部)  
 会計監査人 有限責任 あずさ監査法人

## 大株主の状況

株主名	所有株式数	所有株式比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	9,275千株	8.32%
クレディスイス・ジャパン・証券・サービス株式会社	4,800	4.30
株式会社三井住友銀行	4,252	3.81
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,231	3.79
旭硝子株式会社	3,836	3.44
日本山村硝子取引先持株会	3,727	3.34
クリアストリーム・バンキング・エス・エー	3,250	2.91
日本生命保険相互会社	3,098	2.78
山村幸治	3,034	2.72
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,944	2.64

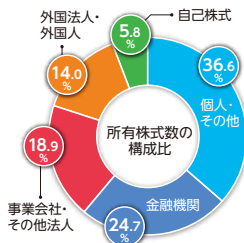
(注) 1. 当社は、平成26年9月30日現在、自己株式6,460千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の持株数には、信託業務にかかわる持株数が含まれております。  
 3. 所有株式数は、表示単位で切捨て表示をしております。

## 株式の状況 (平成26年9月30日現在)

発行可能株式総数 300,000千株  
 発行済株式の総数 111,452千株  
 株主数 10,118名  
 単元株式数 1,000株

## 所有者別株式分布状況

	株主数	所有株式数
個人・その他	9,734名	40,754千株
金融機関	31	27,561
事業会社・その他法人	276	21,101
外国法人・外国人	76	15,573
自己株式	1	6,460
合計	10,118名	111,452千株



## 役員 (平成26年9月30日現在)

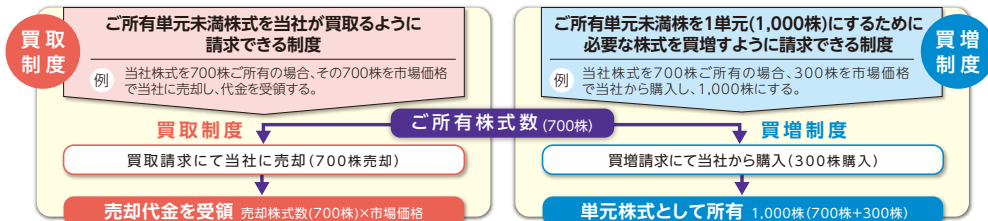
代表取締役社長 山村 幸治  
 最高経営責任者 最高執行責任者  
 専務取締役 谷上 嘉規  
 環境経営室 コーポレート本部管理  
 研究開発センター管理 ニューガラスカンパニー管理  
 取締役 上高 雄樹  
 サンミツデンリフトテクノロジー社駐在 (同社取締役副社長)  
 取締役 井上 善雄  
 株式会社巴川製紙代表取締役社長 (社外取締役・独立役員)  
 常勤監査役 木村 孔一  
 常勤監査役 鈴木 仁  
 監査役 鳥山 半六  
 弁護士 (社外監査役・独立役員)  
 監査役 齋藤 好江  
 公認会計士 (社外監査役・独立役員)  
 常務執行役員 寺岡 茂喜  
 ガラスびんカンパニー 社長  
 執行役員 野々口和男  
 研究開発センター 長  
 執行役員 河本 光由  
 ガラスびんカンパニー 社長付  
 執行役員 田中 二郎  
 プラスチックカンパニー 生産部長 技術部長  
 執行役員 脇本 正己  
 エンジニアリングカンパニー 社長  
 執行役員 明神 裕  
 ガラスびんカンパニー 生産部長  
 執行役員 小林 史吉  
 プラスチックカンパニー 社長

取締役・監査役

執行役員

中間配当に関する取締役会決議のお知らせにつきましては、昨年まで「中間配当金支払いに関する取締役会決議ご通知」と題した郵便がはぎをお送りさせていただきましたが、本年より同はぎの郵送を廃止させていただきます。今後は、同はぎに替えて当社ホームページにてご案内させていただきます。何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

## 買取・買増制度をご利用ください



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領日	3月31日
中間配当金受領日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.yamamura.co.jp/">http://www.yamamura.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で行うこととなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。  
 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。  
 なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取扱させていただきます。  
 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

## 株式に関するお手続きについて

### ○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>○単元未満株式の買取 (買増) 請求</li> <li>○住所・氏名等のご変更</li> <li>○特別口座の残高照会</li> <li>○配当金の受領方法の指定 (*)</li> </ul>	特別口座の 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿 管理人 [手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufj.jp/daikou/">http://www.tr.mufj.jp/daikou/</a>

(\*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は選択いただけません。

### ○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>○郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿 管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。



この決算ご報告はFSC®認証紙と大豆油インキを使用して印刷しております。